

お葬式の流れ ご逝去から初七日まで

ご逝去直後

1. 葬儀社に連絡をする	<ul style="list-style-type: none"> 故人の名前 自宅の住所・電話番号 宗教・宗派 ご自宅以外へ搬送する場合はその旨 解剖の有無
2. 菩提寺に連絡する	<ul style="list-style-type: none"> 夜中の場合は翌朝連絡する(とりあえず逝去のお知らせのみ)
3. 病院へ向かう	<ul style="list-style-type: none"> 病室又は豊安室 病院に駆けつけるのは近親者のみにする 死亡診断書を貰う 役所への届けは葬儀社が代行致します 要印鑑
4. 病院出発	<ul style="list-style-type: none"> 入院時の荷物を忘れずに 看護婦のお見送りに御礼を述べる 看護婦のお見送りに御礼を述べる ご遺族の1人又は2人が寝台車に同乗する 寝台車は葬儀社が手配致します 病院の係員・寝台車の運転手に必要に応じて心付けを渡します。
5. ご遺体安置の準備	<ul style="list-style-type: none"> ご自宅の入口からご遺体を安置する部屋までの通路を確保しておく 布団に白無地のシーツを掛け、北又は西を枕にして敷き、掛布もできるだけ白い物にする 浄土真宗以外の宗派の方は一膳ご飯と枕団子(6個)を用意する(枕団子は上新粉でピンポン玉位の大きさに作る) 浄土真宗以外の宗派の方は既存の仏壇の中のなま物(お供物・花等)を処分し扉を閉じる(忌明けまで)
6. ご遺体到着	<ul style="list-style-type: none"> すぐに布団にお寝かせします 葬儀社がドライアイスで処置をし、枕飾りの準備を致します 浄土真宗以外の宗派の方は事前に用意した一膳ご飯と枕団子と水とお茶を枕元にお供えします ご希望により枕花を用意します 枕飾りの準備が出来次第、順次焼香
7. 打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> 日時・式場・火葬場・霊柩車等、葬儀に必要な事柄を打ち合わせします 火葬場・霊柩車等、手配の必要なものは全て葬儀社が手配します
8. 菩提寺に連絡する	<ul style="list-style-type: none"> 日時等が決まったらスケジュールが合うかどうか問い合わせると共に お経並びに戒名(法名)を依頼する 時間の余裕があれば菩提寺に参上してお願いした方が良いでしょう 必要に応じて枕経をお願いする 必要に応じて送迎用のハイヤーを用意する 葬儀社でハイヤーも手配出来ます ハイヤーの運転手には必要に応じて心付けを渡します。
9. 各関係への訃報	<ul style="list-style-type: none"> 電話連絡 ファックスによる連絡 新聞広告・通知状は日にちに余裕がないと出来ません
10. 湯灌	<ul style="list-style-type: none"> 逆水の儀式、顔・体全身を洗い清める、洗髪、整髪、髭剃、爪切り、死化粧経帷子を着せる 湯灌は外注になります 湯灌入夫には心付けが必要になります
11. 枕経	<ul style="list-style-type: none"> 時間によってはご僧侶にお茶菓子、もしくは食事の用意をする 必要に応じてお車代やお膳料の用意をする お車代・お膳料の袋は葬儀社で用意します この時点でご僧侶に以下の事を再確認する 戒名(法名)の事 お布施の事 通夜・葬儀・初七日の日時 お経をあげていただくご僧侶の人数 送迎用車の要・不要
12. 納棺	<ul style="list-style-type: none"> ご親族等の本当に親しい方には納棺の日時も知らせておく 副葬品(棺と一緒に入れる物)を用意しておく 納棺の準備が出来次第、棺周りに集まり手甲脚絆等の死装束を着け、ご遺族ご親族の皆様でシーツの端を持ち棺に納める 手直し後、副葬品を入れる 浄土真宗の場合は死装束は着けません。 納棺時にドライアイス処置を致しますが、通夜まで日にちが空く場合は毎日に追加処置致します 納棺は都合によっては斎場へお移してから行う事もあります
13. 移棺	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には1人又は2人が寝台車に同乗しますが、移棺の時間が早い場合は斎場に着いても皆様の控え室が無い場合がありますので、葬儀社でお預かりして移棺することもあります ここで火葬後ご自宅に帰ってご遺骨を安置出来るように中陰飾りを準備します 中陰飾りはご納骨までお貸し致します 寝台車は葬儀社が手配致します 寝台車の運転手には心付けが必要です

14. ご遺族・ご親族斎場に到着	<ul style="list-style-type: none"> ・通夜式開式の2時間前位が目安です ・祭壇の設営終了まで控え室にて待機 ・礼状の文面の確認 ・ご供花の名札の序列を指示する ・宿泊の希望がある場合はこの時に葬儀社に申し出る ・斎場の都合により宿泊出来ない場合もございます。 ・お車代(お膳料)を用意する ・貸し布団は葬儀社で手配致します ・お車代(お膳料)の袋は葬儀社で用意します
15. お手伝い(各係員)到着	<ul style="list-style-type: none"> ・各持ち場の作業開始時間は基本的には開式の1時間前から ・ですので、1時間半前に集合して葬儀社の指示により持ち場 ・及び作業等の確認をする ・係員の人数は式場にもよりますが、予想されるお客様の人数の ・1/10が目安です ・各係員用の備品は全て葬儀社で用意します
16. ご僧侶到着	<ul style="list-style-type: none"> ・通夜式開式まで湯茶の接待 ・送迎用ハイヤーを使用している場合は、必要に応じて運転手へ心付けを渡します。
17. 通夜式開式	<ul style="list-style-type: none"> ・開式15分前にご遺族ご親族は式場内へ入場
18. 導師入場	
19. 開式の辞	
20. 焼香	<ul style="list-style-type: none"> ・喪主から始め、故人に続柄の近い方から順次焼香し、焼香後 ・自席に戻る ・お焼香の時に焼香台を使わず、回し香炉でその場に座ったま ・ま焼香する場合もある ・基本的にはご遺族ご親族の焼香が済んでから一般焼香です ・が、場合によっては一般焼香が先に始まる事もあります ・係員の焼香は最後になります
21. 導師退場	<ul style="list-style-type: none"> ・開式後約40分位でご導師の退場です ・ご僧侶にお茶及び食事の用意 ・ご僧侶は食事を召し上げらないでお帰りになるかもしれません ・ので、持ち帰りが出来るように折り詰めも考えておいた方が良いでしょう ・葬儀の時間を確認する ・お車代(お膳料)を渡す ・お帰りの際に返礼品を渡す
22. 閉式	<ul style="list-style-type: none"> ・式の時間は常識として約1時間ですので、ご導師が退場後は ・様子を見てご遺族ご親族の内の数人が式場内に残り、他の ・ご親族はお斎処に移る
23. 閉式後	<ul style="list-style-type: none"> ・各係員はお客様が途絶え、整理が済んだら作業を止め、貴重 ・品・お香典各種書類を持ちお斎処へ移動する ・葬儀の確認事項 ・ 甲辞の有無 ・ 披露弔電の抜粋(全文3通、名前のみ5通～10通位) ・ 会葬御礼の挨拶は誰がするか ・ お位牌・遺影・お骨を誰が持つか ・ 初七日の料理の品物と数 ・ 火葬場へお供する車の席順
24. 解散	

25. ご遺族・ご親族斎場に到着	<ul style="list-style-type: none"> 葬儀式開式の2時間前位が目安です お車代(お膳料)、お布施を用意する お布施は後日菓子折等を添えてお寺にご挨拶に行くようにした方が丁寧です お車代(お膳料)、お布施の袋は葬儀社で用意致します 披露甲電を葬儀社に渡す 会葬御礼の挨拶を誰がするか葬儀社に伝える お位牌・遺影・お骨を誰が持つか葬儀社に伝える
26. お手伝い(各係員)到着	<ul style="list-style-type: none"> 各持ち場の作業開始時間は基本的には開式の1時間前からですので、1時間半前に集合して葬儀社の指示により持ち場及び作業等の確認をする 帳面類は通夜の物とは別に新しい物を用意します 各係員用の備品は全て葬儀社で用意します
27. ご僧侶到着	<ul style="list-style-type: none"> 通夜式開式まで湯茶の接待 送迎用ハイヤーを使用している場合は、運転手への心付けが必要です
28. 葬儀告別式開式	<ul style="list-style-type: none"> 開式15分前にご遺族ご親族は式場内へ入場
29. 導師入場	
30. 開式の辞	
31. 引導(表白)等	
32. 焼香	<ul style="list-style-type: none"> 約15分すぎに宗派による引導・表白等があり、会葬客が少ない時はその後焼香を開始する。 会葬客が多い時は適宜焼香を開始する事もある 喪主から始め、故人に続柄の近い方から順次焼香し、焼香後自席に戻る お焼香の時に焼香台を使わず、回し香炉でその場に座ったまま焼香する場合もある
33. 導師退場	<ul style="list-style-type: none"> 開式後約40分位でご導師の退場です ご僧侶にお茶の用意をする 出棺の準備が出来るまで別室にて待機していただく
34. お別れ	<ul style="list-style-type: none"> 準備が出来たら花を受け取り、棺周りに集まり、喪主から順に故人の顔の側から花を入れて行きます 花を入れ終わり蓋を閉めたら、ご親族の男性の方(6~8人)で棺を霊柩車まで運び納める
35. 甲電・挨拶・閉式・出棺	<ul style="list-style-type: none"> 棺を霊柩車に納めたら、ご遺族ご親族の皆様は霊柩車を背にしてお客様の方に向かって並立する 挨拶をする方は前の方で待機する 甲電披露後、ご会葬御礼の挨拶 閉式の辞 乗車、出棺
36. 火葬場到着	<ul style="list-style-type: none"> 案内により火葬室前にて焼香し、火葬終了まで決められた休憩室で待機(火葬時間は約50分です) この間に飲み物や乾き物は手配出来ます 葬儀社で火葬場に来ている人数を確認し、忌中払いの料理が足りるかどうか判断し、足りない場合は手配致します 火葬場では職員と霊柩車の運転手に必要に応じて心付けを渡します
37. ご収骨	<ul style="list-style-type: none"> 案内が入りましたら、ご収骨室に移動しますが、休憩室にはもう戻りませんので忘れ物のないように気をつける ご遺骨を容器に納めますが、2人でひとつの骨を摘んで納めるようにする ご遺骨を容器に納めた後、容器を桐箱に納めますがその際に埋葬許可書を入れますので職員からの注意をよく聞いておく
38. 火葬場出発	<ul style="list-style-type: none"> 来た時と同じように車へ乗車する トイレ等に行っていて遅れてしまう場合がありますので気をつける
39. 斎場到着	<ul style="list-style-type: none"> 斎場に入る前に水と塩で清めます(浄土真宗の場合は行いません) ご遺骨・遺影・お位牌を所定の位置へ安置
40. 初七日法要	<ul style="list-style-type: none"> 戻ってからすぐに法要が始まりますので速やかに席に着く お経が始まりましたらすぐに喪主の方から順に焼香をする(約30分で終わります)
41. 忌中払い	<ul style="list-style-type: none"> 初七日のお経が終了後、僧侶より法話がある場合とない場合がありますが、終了後忌中払いの席に着く ご僧侶、お客様を上席に案内し、遺族は末席に座る 喪主の方より簡単に挨拶をし、どなたかに献杯の発声をしていただいてから食事をする。 ご僧侶は初七日法要後都合によりすぐお帰りになる場合がございますのでご僧侶用のお食事をお持ち帰りの出来るような準備もしておく
42. ご僧侶帰寺	<ul style="list-style-type: none"> お膳料(お車代)、お布施を渡す お布施を後日渡す場合は、その旨を伝える その日の返礼品を渡す
43. 解散・帰宅	<ul style="list-style-type: none"> ご自宅に着いたら予め準備をしておいた中陰壇にご遺骨・遺影・お位牌を安置して焼香をする

株式会社 自然葬祭

東京都杉並区下高井戸3-21-34 電話：0120-70-2288 FAX：03-5357-0422